

調査書（様式1号）作成上の注意

- 1 倉敷市立倉敷支援学校に提出する調査書は、倉敷支援学校ホームページまたは、市教委『校支援』のライブラリからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでよい。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 各欄の記入は、次のとおりとする。
 - (1) 「特別支援学級在籍の有無」欄については、「有・無」のいずれかに丸印を付ける。
「()」には、知的、情緒、その他のいずれかを記入する。特別支援学校中学部在籍の場合は、何も記入しない。
 - (2) 「卒業後の動向」欄については、卒業見込の場合は、斜線を引く。既卒者については、中学校又は特別支援学校中学部卒業後の動向を具体的に記入する。
 - (3) 「健康の状況」
 - ア 「その他の疾病等」欄については、知的障害以外の診断名（自閉症スペクトラム等）や疾病等、該当するものがあれば、できるだけ具体的に記入する。
 - イ 「備考」欄については、学校生活で健康上配慮したことを記入する。身体障害者手帳を所有する場合は、種類や等級を記入する。
 - (4) 「出欠の記録」
 - ア 第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある欠席日数を転記し、第3学年については、令和7年12月末現在で記入する。（令和7年3月以前の卒業者は、第3学年についても、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。）
 - イ 「欠席の主な理由」欄には、各学年で欠席日数15日以上又は連続して6日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
 - (5) 「諸検査の記録」欄については、知能検査の結果の最近のものを記入すること。検査の実施機関も記入すること。
 - (6) 「学習の記録」
 - ア 現在の各教科等の学習の状況を記入する。記入に当たっては、特別支援学校学習指導要領に示す知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等の内容を踏まえて具体的に記入する。教育課程上実施していない教科がある場合は、「記載事項なし」と記入する。
 - イ 「特記事項」欄については、各教科、総合的な学習の時間の学習について総合的に見た長所を具体的に記入する。なお、特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評価に著しく変動のあった場合）があれば、その状況についても記入する。
 - ウ 「総合的な学習の時間」欄については、この時間に行った学習活動を記入し、生徒の学習状況における顕著な事項や生徒にどのような力が身に付いたかなどを記入する。
 - (7) 「特別活動の記録」欄については、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を参考に記入する。
 - (8) 「行動・性格等及び参考となる事項」
 - ア 「行動・性格等」欄については、基本的生活習慣、身辺処理、その他の性格や行動及び生活面の特徴を記入する。
 - イ 「参考となる事項」欄については、部活動の所属部名及び主な活動状況、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動、趣味、興味・関心等）など生徒の成長の状況を記入する。また、現在学校で行っている合理的配慮があれば記入する。